

各地の逸品も
勢ぞろい！
明治以来
115年ぶりの紹介も

群馬からみる

日本の美

2024.
9/21 SAT

→ 11/10 SUN

戸方庵井上
コレクション
5つの扉

前期 | 9月21日(土) → 10月20日(日)
後期 | 10月22日(火) → 11月10日(日)

*会期中、大幅な展示替えを行います。

趣旨・内容

群馬県の文化振興に広く貢献された高崎市の実業家、井上房一郎^{いのうえふさいちろう}（1898—1993）は、美術館での公開を念頭に長年作品を蒐集し、昭和49（1974）年の群馬県立近代美術館開館に際して、国の重要文化財を含む日本・中国の美術作品をまとめて寄贈されました。このコレクションは、井上の号「戸方庵」^{こほうあん}にちなみ「戸方庵井上コレクション」と名づけられ、現在、所蔵品の重要な柱の一つとなっています。

本展は、南宋から清時代にかけての中国絵画や、日本の室町から桃山時代の水墨画、江戸時代の琳派、狩野派の作品、さらに肉筆浮世絵などといった戸方庵井上コレクションの特色ある作品を、奥深い日本美術の世界へ誘う扉に見立て、全国各地からお借りした名品の数々とともに、5つの章により約100点の絵画作品をご紹介します。開館50周年を記念した美の競演をおたのしみください。

第1章

中国への憧れと学び

日本に伝わり大切にされてきた中国の草虫画と、中国の院体画と呼ばれる写実的で精緻な画風を学び、影響を受けた雪村周継の花鳥画の作品を紹介します。

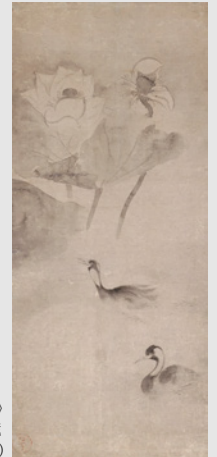


雪村周継《葛花、竹に蟹図》室町時代
群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）

第2章

墨の彩り

古くから「墨に五彩あり」と言われるように、墨の色、濃淡、潑墨、破墨、かすれ、にじみ、ぼかしといった描法が生み出す多彩な表現や、その繊細な美しさに注目します。



依屋宗達《蓮池水禽図》
江戸時代 京都国立博物館蔵
国宝（後期）

第3章

華やぎの色とかたち

桃山から江戸時代の作品にみられる装飾性、デザイン性に注目します。特に屏風など大画面の作品では、時代性を反映した豪華さ、華やかさも感じられます。



長谷川宗宅《柳橋水車図屏風》桃山時代 群馬県立近代美術館
戸方庵井上コレクション 群馬県指定重要文化財（通期）

第4章

画家の眼 対象へのまなざし

江戸時代には、中国や西洋諸国から新たな知識や見慣れない生き物の情報がより多く入ってきたことで、本草学や博物学、他学問が発展し、知的探究に人々の情熱が注がれました。絵画の分野でも、作品から作家や受容者の観察眼や知的好奇心が伝わってきます。写実性に加え、その先の性質や情感をも表現した作品をご紹介します。



伊藤若冲《菜蟲譜》（部分）寛政2（1790）年頃 佐野市立吉澤記念美術館蔵 重要文化財（10/1-11/10展示）＊場面替があります

第5章

知の愉しみ 物語、歳時、祈り

日本美術において作品に内包される文学性は、切っても切れないものです。直接的な表現にしろ、鑑賞者に連想させることで成り立つ間接的な表現にしろ、文学的要素によってその情緒をも示し、人々を愉しませます。それは理解できる知識をもっているか、鑑賞者の教養を試す遊びでもあります。また、江戸時代は庶民の文化が発達し、作品やその担い手、受け手も広く大衆化しました。庶民の生活や風俗、年中行事、神仏への信仰といったものも多彩に描かれるようになりました。



菊川英山《美人図》江戸時代
個人蔵（通期）

開催概要

展覧会名	開館50周年記念 群馬からみる日本の美 戸方庵井上コレクション5つの扉
会場	群馬県立近代美術館 展示室1
会期	2024年 9月21日(土) — 11月10日(日) 前期:9月21日(土) — 10月20日(日) 後期:10月22日(火) — 11月10日(日) *会期中、大幅な展示替えを行います。
開館時間	午前9時30分 — 午後5時 (入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日 (10/28は群馬県民の日のため開館、祝日の場合は開館し翌日休館)
観覧料	一般1,000円(800円)、大高生500円(400円) *()内は20名以上の団体割引料金 *中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 *群馬県民の日(10/28)に観覧の方は無料
主催	群馬県立近代美術館
助成	芸術文化振興基金 

関連事業

■ オープニングギャラリートーク

日時：9月21日(土) 午前10時30分—11時30分
講師：岡部昌幸(当館特別館長・帝京大学名誉教授)
場所：展示室1 *申込不要、要観覧料

■ 学芸員による作品解説会

日時：9月25日(水)、10月30日(水) 午後2時—3時
場所：展示室1 *申込不要、要観覧料

■ 記念講演会 2F講堂／定員各回100名 *申込不要、参加無料

① 戸方庵井上コレクションから広がる5つの世界

日時：10月12日(土) 午後2時—3時30分
講師：安村敏信氏(北斎館館長・静嘉堂文庫美術館館長)

② 戸方庵井上コレクション・円山応挙《青鸚哥図》と異国趣味

日時：10月26日(土) 午後2時—3時30分
講師：樋口一貴氏(十文字学園女子大学教授・本展企画協力者)

③ 柳橋水車図について

日時：11月2日(土) 午後2時—3時30分
講師：勝盛典子氏(元香雪美術館・中之島香雪美術館館長)

同時開催 コレクション展示(展示室7・山種記念館)

「戸方庵井上コレクションのすべてⅠ」9月21日(土)—10月14日(月・祝)
「戸方庵井上コレクションのすべてⅡ」10月16日(水)—11月10日(日)

50周年記念事業

■ 開館50周年を記念し、リピーター特典として特製ポストカードをプレゼント！

本展を複数回ご観覧いただくお客様に、感謝の気持ちを込めて所蔵品のポストカードをご用意しました。
2回目以降のチケットの購入・引換時に本展の半券をお持ちください。

■ 開館記念日(10/17)前後に様々なイベントを予定しています！

*詳細が決まり次第、HP等でお知らせします。

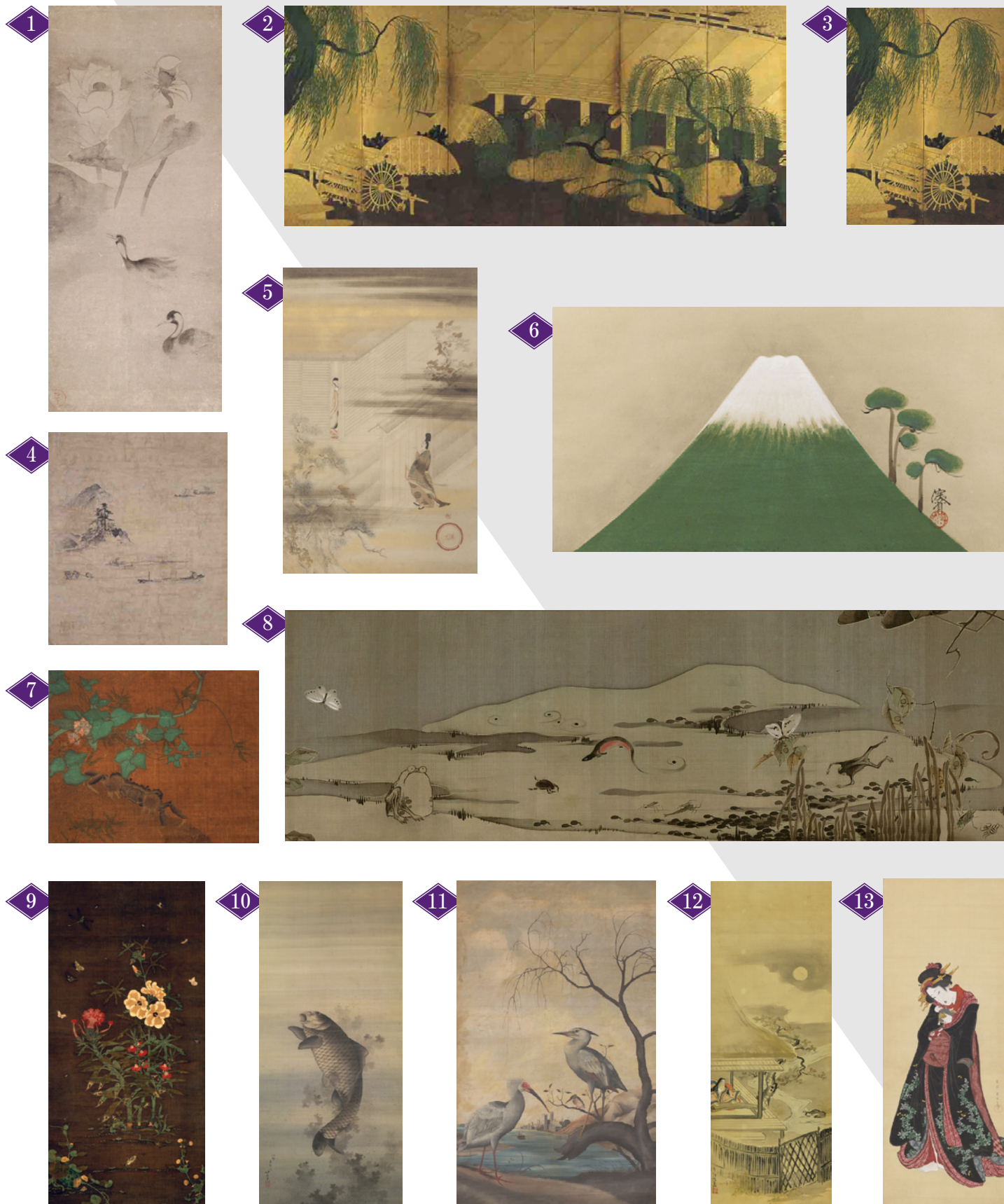


開館50周年記念

群馬からみる日本の美

戸方庵井上コレクション5つの扉

広報用画像



広報用画像・読者プレゼント用招待券申込書 群馬県立近代美術館 広報担当 石原
TEL : 027-346-5560
FAX : 027-346-4064 E-MAIL : bijutsu@pref.gunma.lg.jp

開館50周年記念 群馬からみる日本の美 戸方庵井上コレクション5つの扉 の広報用画像 1～13 を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、上記FAX番号またはEメールにてお申し込みください。

貴社名：

ご担当者名：

貴媒体名：

E-MAIL：

TEL：

FAX：

掲載予定日：

読者用招待券： ☐ 希望する(5組10枚) ☐ 希望しない

招待券送付先：

ご希望の画像番号のチェック欄に ☒ 印をお付けください。

チェック欄	画像番号	キャプション・クレジット（展示期間）	☐		
☐	1	依屋宗達《蓮池水禽図》 江戸時代 京都国立博物館蔵 国宝（後期）	☐	7	雪村周継《葛花、竹に蟹図》 室町時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）
☐	2	長谷川宗宅《柳橋水車図屏風》 桃山時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション 群馬県指定重要文化財（通期）	☐	8	伊藤若冲《菜蟲譜》（部分） 寛政2（1790）年頃 佐野市立古澤記念美術館蔵 重要文化財（10/1-11/10）
☐	3	長谷川宗宅《柳橋水車図屏風》（部分） 桃山時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション 群馬県指定重要文化財（通期）	☐	9	《草虫図》 中国・明時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）
☐	4	伝蛇足《山水図》（秋景） 室町時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション 重要文化財（前期）	☐	10	葛飾北斎《鯉図》 江戸時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）
☐	5	岩佐又兵衛《梓弓図》 江戸時代 個人蔵 重要美術品（通期）	☐	11	司馬江漢《寒柳水禽図》 江戸時代 個人蔵（前期）
☐	6	尾形乾山《富士山図》 江戸時代 群馬県立近代美術館 戸方庵井上コレクション（通期）	☐	12	尾形光琳《小督図》 江戸時代 個人蔵（通期）
☐			☐	13	菊川英山《美人図》 江戸時代 個人蔵（通期）

広報用画像の使用に関するお願いとご注意

この度は、開館50周年記念 群馬からみる日本の美 戸方庵井上コレクション5つの扉 をご紹介いただき、誠にありがとうございます。貴媒体にて本展の作品画像を使用される場合、下記の規定に基づいてご使用をお願い申し上げます。

- 1) 作品は全図（既に部分図のものは加工せずそのまま）で使用してください。トリミング、文字のせ等はお控えください。
- 2) ご使用の際は、必ずキャプション・クレジット（展示期間）を記載ください。
- 3) 作品画像のご使用は本展の告知を目的とした記事・番組に限ります。また、本展終了後の掲載、放送などは原則としてご遠慮ください。
- 4) デジタル画像は全てJPG画像で、メール送信いたします。
- 5) ご掲載紙・誌を1部ご寄贈いただけますようお願いいたします。